

各 位

2011年9月9日

株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 土谷 美津子
(コード番号 4343 東証一部)
経本部長 新田 悟
(電話 043-212-6203)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号 8267 東証一部)

2012年2月期第2四半期累計期間の業績予想のお知らせ
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

記

2012年2月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、これまで開示しておりませんでした。概ね業績見通しが開示できる状況となりましたので、下記の通りお知らせいたします。

それともない、2011年4月5日に公表した2012年2月期通期業績予想を、下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

1. 2012年2月期第2四半期累計期間の業績予想 (2011年2月21日～2011年8月20日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
業績予想	20,800	1,550	1,550	690	38円06銭
(ご参考) 前年同期実績	21,164	1,030	941	430	23円73銭

2. 2012年2月期 (2011年2月21日～2012年2月20日) 業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	40,700 ～41,100	2,400 ～2,600	2,400 ～2,600	900 ～1,050	49円65銭 ～57円92銭
今回修正予想 (B)	42,300	3,200	3,200	1,500	82円73銭
増減額 (B-A)	1,600 ～1,200	800 ～600	800 ～600	600 ～450	
増減率 (%)	3.9% ～2.9%	33.3% ～23.1%	33.3% ～23.1%	66.7% ～42.9%	
(ご参考) 前年同期実績	42,245	2,682	2,601	1,256	69円32銭

3. 修正の理由

当2012年2月期通期業績予想は、東日本大震災や当初想定された計画停電の影響に加え、震災にともなう資産等の損害をふまえ、売上、利益とも前年を下回る業績予想をレンジで開示しておりました。

しかしながら、震災で休業した店舗の営業再開が進むとともに、本年度の重点課題である‘店別品揃え’を明確にした遊戯機械の入れ替え効果や創育イベントを強化した‘ファンタジースキップズガーデン’等の時間制遊具グループが好調に推移したこと等により、5月度以降急速に売上が回復し、前年売上を上回り推移いたしましたので通期業績予想の見直しを行いました。

※上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上